

その後、昭和三十五年、神戸に本部を置き全国を一本に致しました、辰巳会の結成の節は東京にあつて西川支部長を補佐し以後、いつも行動を共にされ、同じ釜の飯を食つた仲のよい同志でございました。

共に、吾々会員一同の平和と、幸福を御加護下さらん」とを、会員一同に代り、お願ひ申し上げる次第でござります。

昨年、西川支部長のご逝去に伴い、そのあとを、支部長としてお世話を頼り、改めて只ごめんなば、喜んで

長じてお世話を嬉しい到りがござりますが喜んでお引受け頂き、一月の本部例会、四月の全国大会には、お元気にご来神頂きましたのに、本当に残念の極みでございます。

先年、奥様をお亡くしになられ乍らも、お一人でござ生  
活をされ、内地は勿論、外地迄よくご旅行なさいました。  
その積極性には吾々の尊敬する処でございました。

昨年は米寿のお祝、次は卒寿と、まだまだご活躍をお願い致度存じ居りましたのに、誠に残念でございます。

どうか安んじてお眠り下さい。在天の同志の皆様方と

辰巳だより 会員による会の活動報告

於東明閣。新

於東明閣・新年会

幹事小會

幹事小會

今日は、門松もノ繩も

れました今日としては甚  
れではあります、先ず  
二年的新春を日出たくお  
いました事を心からお慶

先ず最初に今年喜寿並び  
当られる方々を御報告由  
ハと存じます。

喜寿の方は  
橋本仲介 西川一蔵 星子 太  
井上好正 末次英一 米倉 勇  
の六名の方々であります。そして  
米寿の方は

加藤福雄 安並正道 野原貢司  
小島 実 山本鍊造 花井嘉吉  
白井栄次郎 吉田宜蔵 橋本知  
一郎の九名の方々であります  
喜寿の方々には昨年暮に夫々朱塗  
の大杯を、お贈りしておきました  
ので先刻御受納頂きました、この

又、米寿の方々には、お誕生日迄に銀杯をお賜りする様既に手配完了致しておりますので皆様御諒承頂きたいと存じます。

尚本日は喜寿の方には井上さん、米寿の方々には安並さんが御出席頂いておりますので恐れ入りますが一度御起立頂きたいと存じます。

それでは、皆さん一盛大な拍手を以てお喜びに代えて頂きたいと存じます。どうも皆さん有り難う存じます。

御座居ました。

それでは、後程スピーチの折お二方の内お一人に長寿の秘訣と云つた様な事を御漏し願いたいと存じます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

次に来る五月六日は我等のお家さん、鈴木よね刀自の五十回忌に当ります。それにつきまして本年の全国大会は御承知の通り例年五  
月に開催しておりましたが今年は特に繰り上げ四月十四日(火)に祥竜寺に於てお家さんの五十回忌法要を兼ね開催したいと考へております。祥細は追つて御連絡申し上げますが法要後、模擬店など設え時節柄ではありますが、心から追善供養したいと考えております。尚

それでは、後程スピーチの折お二方の内お一人に長寿の秘訣と云つた様な事を御漏し願いたいと存じます。どうかよろしくお願ひ

次に来る五月六日は我等のお家さん、鈴木よね刀自の五十回忌に当ります。それにつきまして本年の全国大会は御承知の通り例年五

月に開催しておりましたが今年は特に繰り上げ四月十四日(火)に祥竜寺に於てお家さんの五十回忌法要を兼ね開催したいと考へております。詳細は追って御連絡申し上げますが法要後、模擬店など設え時節柄ではありますが、心から追善

それで最後に昨年十月十六日

それではこの方々の御冥福を心からお祈りして黙禱を捧げたいと

存じます。

有り難う御座りました。これにて会務報告を終らせて頂きます。御清聴有り難う御座居ました。

第二十八回 全国大会

會務報告

昭和六十二年四月十四日(火)

幹事 小倉 五郎  
皆さん、こんにちは、よくいらつしやいました。最近のお天気は実際に変調で、毎々春だと思つて衣替えしますと、又冬が戻つて来た様な塩梅で、我々年寄りにとりましては油断のならない今日この頃ですが、皆さんにはお元氣で、本日は御出席頂きまして、恂<sup>マコト</sup>に有り難い事と存じます。

処で全国大会は御承知の通り例年五月半に実施して参ったのであります。が今年はお家さんの五十九回忌の法要を兼ねます為繰り上げ本日となつたのであります。が決定当初より私鉄のストを非常に気遣つたのではあります。が入手した色々な情報分析の結果、大丈夫と言う幹事一同の決論に基きまして決定した訳であります。が、正直な話昨夜の十時十分のNHKのスト解消のスポットニュースを聞く迄は文字通り實に薄氷を踏む様な想いでありました。然し解消されて本当に結構でした。

処で想い起りますとアノ昭和二年四月二日の我等の主家は基より我々にとっての悲運の日より数えて早や六十年。その為良きにつけ悪しきにつけ夫れ々々にお互いに色々の道を歩んで来た尺があり

ます。前後アノ堅浮かべますとき、れる想いをするし我々の知る限り後誰一人と皆夫れ々々に帆功者を輩出し又た結果、毎年文言つていい位に御沙汰があくイズムの然ら一第であります。

の歳月を経た今、過ごせし日を語るのも之偏えに故とみ佛に感謝であります。

そして又我々年を経て尊敬並

十年前の四月一  
した事態を想い  
胸を締めつけら  
であります。然  
におきましては  
て落後者はなく  
得て数多くの成  
家社会に尽され  
の日には必ずと  
、三の方に叙勳  
は之偏えに辰  
る処と存する次  
して今又六十年  
ここ一堂に会し  
会う喜びを感じ  
互に健康なるが  
念を捧げる次第  
運命の日より十  
に敬愛おく能は

が五十回忌に当りますので先程来  
菅禪師により御懇篤なる法要が當  
まれた次第であります、此処に  
お家さんは因縁浅からざる當時  
の女子職業学校、神戸市立商業學  
校の同窓会姫百合会代表岡田文恵  
さん以下五名の方が御出席頂いて  
おります。同会より過分のお供え  
を頂きまして恂に恐縮致しております。  
厚く御礼申し上げます。後程どな  
たか代表してお家さんとの想出話  
などお聞かせ頂けますなれば非常  
に仕合せと存ずる次第であります。

又前後致しましたがこの度日商  
岩井株式会社の植田会長さんがこ  
の会に初めて御出席頂きました、  
その上御土産として菰被コモを頂戴致  
しまして恂に有り難う御座居まし  
た。後程鈴木会長とお二人によつ

段取りになつておりますのでよろしく御了承の程お頼み申します。

尚、他に次の方々から御贊助を頂きました厚く御礼申し上げます。

鈴木家、及び神戸製鋼所、日商  
岩井、帝人、太陽鉱工、日塩の五

社、並びに岡田文恵、上野金治、  
和田祝恵、吉富志那子の四氏。

それでは最後に去る一月二十日

物故者 六二・四・一四日現在  
し上げます。

## 六二・一・二〇東明閣における新年會以後

五七・十二・九  
春日市 高木徳次  
一 桜麦酒株

五九·十一二三六

六一・四・八  
札幌市 川越孝教  
大阪支店

東京都 小沢経道 三  
六一・一・四  
神戸市 高橋孝吉 七  
前神戸製鋼所社長

**第二十八回辰巳会全国大会名薄**  
昭和六十二年四月十四日（火）

第二十八回辰巳会全国大会名薄	昭和六十二年四月十四日(火)
來於・祥龍寺(神戸六甲)	來於・祥龍寺(神戸六甲)
嶋坂斎植 上青芦 安安東山加本井竿岩岡(姫百合会) 生山馬蒼島桂 内本藤田 野柳原 東東京口地庄上山本田 尾田場 寶	北海道
潤桃 扉三き金節有恒 義彦初常沙登文 つ作義応京芳 子枝寿吉男ん治子一子淨幸 雄郎美子恵子恵 や助光峰子男	
安阿本間竹四眞田 松北九石高竹杉岡蒼伊(中部) 松西西田建 田 東部部室崎国玉中 村野州川木下村本村藤 本川村辺部代 利文孫な太浅修辰田 浅 幹き富桂志照清 寿明鏡満清ヨシ子 勝子治おみ郎吉 一巳鶴勲美 恵ぬ松子良子子 賀子也雄	
武曾隅 鈴 柴佐小小源 楠山北木城貴楓鍵大奥奥小小五十池井 井根田 木 田野松林島 瀬本尾下戸答 田谷本田野川嶋倉 八重子一好ま一慶治光 寿彰俊ふ美正富素清喜恵雅丈淳千さ晶多喜儀五政広 子郎雄さ誠子雄子健夫男夫さ子明子子郎夫子之夫子子き子子郎郎集雄起	
計 和鷺吉 山柳柳安森森南三松松井堀松藤福橋中浅外千 高神高田 一 田尾田 本田田並 田前木下下川内本田沢本山子島頭 番保畠 二 孝祝千春宜秀浜直政正好博義秀 重ひ宏英健有知知健健元喜薰力千 三 鶴子惠子江藏子一子江道子明夫介守男こ展子作一郎子一吉一子幸ヨ代清 名	

一月二十七日、恒例の新年例会を日商岩井ビル十九階のレストラーン、クレール・ド・赤坂で開いた。例年築地スエヒロ本店で行っていたが、今年は日商岩井広報室のご協賛を得て、会食後日商岩井のPRビデオを見るにしたので、会場をここに替えた次第である。

今年は会長の鈴木治雄さんが見えられ、加地彦太郎さん、高畠二郎さん、有賀美智子さん、水野洸さん、西村鍊次郎さんの新顔も参加して下さり、日商岩井の会長植田三男さんもご多忙の処顔を見せられた。殊に加地彦太郎さんは函館からわざわざ参加して下さったのは感激である。

申し遅れましたが、昭和六十年秋の叙勲で有賀さんは勲二等瑞宝勳三等瑞宝章に叙せられ辰巳会にとつても大変名誉なことである。出席者二十九名、正午過ぎ安東幹事の司会で会は始まった。

幹事の司会で会は始まつた。

先づ昨年から本年始めに亡くな

られた故西川政一さん、故藤岡清俊さん、故南多魯男さん、故煙石隼人さんのご冥福を祈つて黙禱を行つた。後に故西川政一さんの後任として斎藤虎吉さんがおされて東京支部長になられ就任のご挨拶があつた。つづいて会長の鈴木治雄さんが立たれ、「皆さんが益々元気で楽しく豊かに生きられこの辰巳会を続けていきましょう」と力強いご挨拶があつた。

そこで席を改めて隣室の会食のテーブルにつく。坂本寿さんの音頭で皆様の健康を祝して乾杯、食事が始まつた。ビールやワイン、ジユースを飲み乍ら和やかな歓談に入る。

クレール・ド・赤坂は日商岩井ビルの十九階にあり、当地でも有数の高級レストランで皆さんの胃の具合を考えて魚料理にしたが、料理の味わいには皆満足であつた。

やがて、食事も終つて九階のビデオルームに下り日商岩井のPRビデオ“WORKING TOGETHER”を鑑賞することになった。始めに取締役公報室長福井孫さんからご打合せ幹事会の時、当日雨天だつたらどうしようと何故か雨を気にする発言があつたが、生憎雨になってしまった。関東でまとまつた雨が降つたのは、先月十七日以来十七日ぶり、干天が続いて土地はパサパサし雨が欲しいところであつたので正に慈雨ではあつたが。午後から本降りとなり外の行事は中止したが、幸いと言おうか午前中がそこの行事であつたので心配なくそこまでゆっくりすることができた。

そこの売場は成る程広い、然もゆつたりしてて商品も見て歩き易い。他のデパートにない趣である。客足も平日で四万、休日は十六万、平均十万をめざしている。今回の参加者は当初三十二名の予定であったが、欠席者が出て二十八名が参加された。

集合予定は十時半であったが、JR線の事故やお天気の関係で数名の方が遅れ気をもんだが、十一時上の一〇階の日本一のデパートである。横浜市は二十一世紀を展望し、文化都市港湾都市にふさわしいわが国第二の都市をめざし「みなとみらい二十一計画」を昭和五十八年に立てたが、横浜そぞうの開店はまさにこの計画の開幕を告げるものであった。

横浜そぞうは昭和六十年秋オーブンした延床面積五万六千坪、売

地面積二万一千坪、地下三階、地上一〇階の日本一のデパートである。横浜市は二十一世紀を展望し、

文化都市港湾都市にふさわしいわが国第二の都市をめざし「みなとみらい二十一計画」を昭和五十八年に立てたが、横浜そぞうの開店はまさにこの計画の開幕を告げるものであった。

横浜そぞうは昭和六十年秋オーブンした延床面積五万六千坪、売地面積二万一千坪、地下三階、地上一〇階の日本一のデパートである。横浜市は二十一世紀を展望し、

春の例会は横浜そぞうの見学とそぞう美術館で伊東深水展を鑑賞し、昼は最上階の川の流れる街、名店街にある下鴨茶屋で京料理を賞味する。食事後はそぞうの二階から出るシーバス（水上バス）で海から丘の景色を眺めながら山下公園へ出て、そこからマイクロバスで三渓園へ行き、新緑とつづじの咲き誇る庭園を散策して又横浜駅までお送りして四時半解散というスケジュールを企画した。

これは今度東京支部の新幹事になられた西村鍊次郎さんが前に株式会社そぞうの副社長を勤められ、その後そぞう商事の社長を勤められた関係から特にお世話して戴いたものである。

横浜そぞうは昭和六十年秋オーブンした延床面積五万六千坪、売地面積二万一千坪、地下三階、地上一〇階の日本一のデパートである。横浜市は二十一世紀を展望し、

文化都市港湾都市にふさわしいわが国第二の都市をめざし「みなとみらい二十一計画」を昭和五十八年に立てたが、横浜そぞうの開店はまさにこの計画の開幕を告げるものであった。

横浜そぞうは昭和六十年秋オーブンした延床面積五万六千坪、売地面積二万一千坪、地下三階、地上一〇階の日本一のデパートである。横浜市は二十一世紀を展望し、